

移民統合政策 連続セミナー

主催：明治大学国際日本学部 山脇啓造研究室

後援：明治大学国際連携本部、移民政策学会、OECD 東京センター、IOM 駐日事務所、
UNHCR 駐日事務所

講師：トーマス・リービッヒ上級行政官（OECD）

使用言語：英語（部分的に日本語による通訳あり）

会費：無料

申込締切：2016年5月13日（金）

申込・問い合わせ：山脇啓造研究室 yamawaki@meiji.ac.jp

第1回セミナー

日時：2016年5月25日（水）18：15～20：15

場所：明治大学中野キャンパス 310 教室（高層棟 3 階）

テーマ：難民統合の現状と課題—欧州を中心として

（Refugee Integration in Europe and Beyond: Issues and Challenges）

プログラム：

18:15 リービッヒ上級行政官による講演

19:10 コメント 君塚宏 法務省入国管理局審判課長

19:20 コメント 政府関係者（予定）

19:30 討論

20:15 閉会

趣旨：欧州は昨年後半以来、戦後最大規模の難民の受け入れをめぐって、危機的状況にある。OECD のグリア事務総長はグランディ国連難民高等弁務官と 2016 年 1 月に共同記者会見を開き、欧州を中心とする OECD 加盟国による難民統合政策の拡充を呼びかけた。同時に、OECD は難民統合の好事例を集めた報告書を公表した。報告書の作成に携わった講師が、ドイツ等欧州主要国における難民統合の現状と課題について論じる。

第2回セミナー

日時：2016年5月26日（木）17：00～19：00

会場：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント C5 会議室（17階）

テーマ：OECD/EU 移民統合指標から見た国際的な移民統合の現状と課題

（OECD/EU Indicators of Immigrant Integration: Findings and Reflections）

プログラム：

17:00 リービッヒ上級行政官による講演

18:00 コメント 政府関係者（予定）

18:20 討論

19:00 閉会

趣旨：欧州では、2000年代以降、各国政府、NGOそして国際機関によって移民統合に関する指標づくりが進んでいる。2012年にはOECDが指標を用いた移民統合の国際比較の報告書を発表し、翌2013年にはEUも同様な報告書を発表した。そして、2015年7月、OECDとEUは共同プロジェクトの成果として、移民統合指標を用いた新たな報告書を発表した。報告書の作成に携わった講師が、移民統合指標を用いて、ドイツ等OECD主要国の移民統合の現状と課題について論じる。

講師略歴：OECD雇用労働社会政策局国際移民課上級行政官。2004年以来、OECD加盟国の移民政策に関わる様々な調査研究に従事。経済学博士。ドイツ出身。

About the speaker:

Dr. Thomas Liebig, a German national, is Senior Administrator in the International Migration Division of the OECD's Directorate for Employment, Labour and Social Affairs in Paris. Since joining the division in 2004, he has been working on the integration of immigrants and their children, the analysis of migration trends, the management of labour migration and the economic impact of migration. He is currently in charge of the OECD work on the integration of immigrants, including the joint EU-OECD indicators of immigrant integration. He recently co-authored the OECD reviews on the management of labour migration in Germany and New Zealand, work on Austria and Canada is ongoing. Other recent work included a first-ever comparative overview of the fiscal impact of migration in OECD countries and an analysis of evolution, characteristics and labour market impact of free mobility in Europe.